

パネルディスカッション

日本企業のプレゼンス復活 —投資家の裾野拡大を目指して—

《パネリスト（五十音順）》

尾 山 基

（株式会社アシックス
代表取締役社長 CEO）

川 名 浩 一

（日揮株式会社
代表取締役社長）

津 田 純 嗣

（株式会社安川電機
代表取締役会長兼社長）

■司会者

武 田 洋 子 CMA

（株式会社三菱総合研究所
政策・経済研究センター
主席研究員 チーフエコノミスト）

目

1. 自社の経営戦略
2. 成長戦略に対する評価と今後の課題

次

3. 日本経済や各業界の現状と展望
4. 今後の経営戦略

1. 自社の経営戦略

武田：アベノミクスという迅速な政策対応によって、人々のマインドが大きく変わったと言われる。企業収益や雇用情勢が回復しており、企業や家計の景況感も改善方向にある。さらに、昨年の2020年東京オリンピック開催の決定や和食の世界無形文化遺産登録など、明るいニュースも日本経済のムードを好転させる支えとなった。足元では、消費増税の影響や天候要因もあって、多少もたついているが、それを乗り越えて、企業収益の

改善や雇用の回復が持続し、設備投資も増加して、くることが期待される。このような景気情勢とともに、グローバル市場でも日本企業のプレゼンスの復活に期待が高まっている。

本日は、「日本企業のプレゼンスの復活」をタイトルに、3つのテーマで話を進めていく。第1は、日本経済を好転させるきっかけとなった政府の成長戦略への評価と課題について、第2は、各業界の現状やグローバル市場での取組みと課題について、第3は、各企業の今後の経営戦略についてお話しいただく。